

平成 29 年度 第 2 回上益城圏域認知症サポート医連絡会議

日 時 : 平成 30 年 2 月 28 日 (水) 19:00~20:45  
場 所 : 御船町カルチャーセンター 2F 第 1 会議室  
出席者 : 認知症サポート医  
大串先生 (大串内科)、野田先生 (野田医院)、松永先生、宮崎先生 (益城病院)  
牟田先生 (泰泉堂牟田医院)、山地先生 (山地外科胃腸科医院)、  
杉本先生、中村先生、立津先生 (希望ヶ丘病院)

医師  
吉富先生 (希望ヶ丘病院)

御船保健所  
劔様 (所長)、上塚様 (保健予防課)、中川様 (福祉課)

地域拠点型認知症疾患医療センター  
田中様 (益城病院)

熊本県認知症介護指導者  
高橋様 (グループホームせせらぎ)

BPSD コールセンター  
松岡様 (熊本県精神科協会)

BPSD センター事務局  
成松、小柳、増田、蜷川 (希望ヶ丘病院)

議 事 :

1. 19:00~19:05  
開会挨拶 杉本先生 (希望ヶ丘病院)
2. 19:05~19:25  
熊本県認知症サポート医アンケート (H29.11 月実施) 調査結果報告 松岡様 (BPSD コールセンター)
3. 19:25~19:45  
認知症医療について 杉本先生 (希望ヶ丘病院)
4. 19:45~20:05  
地域で連携した症例 中村先生 (希望ヶ丘病院)
5. 20:05~20:45  
意見交換会

## ご意見等

- 精神科医の認知症への処方具体例が参考となった。
- 精神科医としては、認知症患者の身体合併症の治療が必要な場合に一般科医のより一層の連携が必要であると感じており、今後の検討課題だと捉えている。
- 認知症サポート医ではあるが、認知症の方を介護や医療に繋ぐにはどうしたら良いか、介護や福祉の現場ではどう実践しているのか。
- 介護関係者としては、医師との連携に難しさを感じている。医療と介護、福祉の連携を密にするための認知症の連携パス等のツールを作成できないか。
- 圏域の認知症医療の充実という点から、BPSD センターへ期待することも多く、今後も認知症医療に力を入れていってほしい。
- 連絡会議において、認知症サポート医となった医師を地域で育て、地域の関係機関との連携が図られる仕組みをつくることが上益城圏域の認知症医療体制の充実に繋がるとの認識で一致。連絡会議の継続的な開催方法を検討していくこととなった。